

施工・取扱説明書

このたびは弊社二重床をご採用いただきありがとうございます。
製品の特性を十分に生かし、安全で美しい仕上がりに施工して
いただくために本書をよく読み、正しくお取り扱いください。

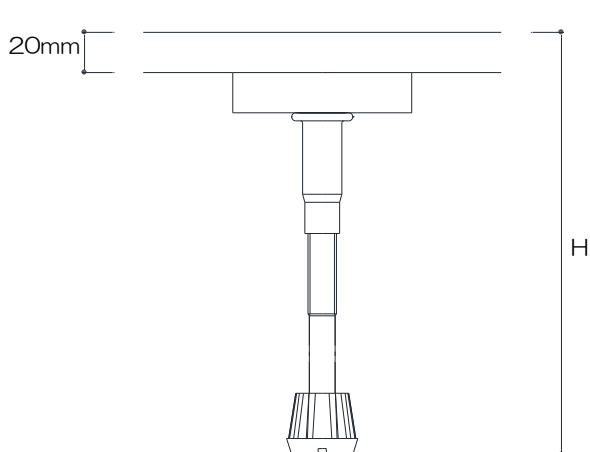


注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物質的損害の発生が想定される内容を示しています。

梱包内容の確認

■ 体育館用支持脚



TEJ 型支持脚

| 品番 | 適応床高 (H) mm | 標準入数 |
|---------|-------------|------|
| TEJ-170 | 137- 202 | 50 |
| TEJ-190 | 147- 232 | 50 |
| TEJ-250 | 207- 292 | 50 |
| TEJ-310 | 267- 352 | 50 |
| TEJ-370 | 327- 412 | 40 |
| TEJ-430 | 387- 472 | 40 |
| TEJ-490 | 447- 532 | 40 |
| TEJ-550 | 507- 592 | 30 |
| TEJ-610 | 567- 652 | 30 |
| TEJ-670 | 627- 712 | 30 |
| TEJ-730 | 687- 772 | 30 |

■ 施工・取扱説明書（本書） 1部

■ 接着剤（BA-400 又は BA-200）

冬季など低温度、乾燥時は硬化しにくい場合がありますが、品質に問題は有りません。



注意

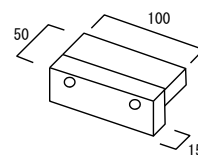
接着剤のラベルに書かれている注意事項をよく読んでご使用ください。

別途用意するもの

- ①床パネル（万協指定パーティクルボード F☆☆☆☆）
床パネルは濡らさないで下さい。
- ②捨張り合板
捨張りは厚さ 12 mmの合板を使用します。
- ③ビス
 - ・床パネル固定用のビスは、コーススレッド半ねじフレキ付き 38 mmを使用。
 - ・捨張り固定の注意
 - 注 1) 合板を使用する場合、ビス等が合板を突抜け、合板の浮きが発生する恐れがありますので充分注意願います。
 - 注 2) 合板留付けのビス等が床パネルを突抜けると配管を傷付ける恐れがありますので長さの選定には充分

注意願います。

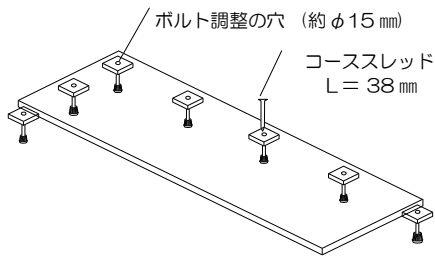
- ④施工工具一式
 - ・電動丸鋸
 - ・インパクトドライバー
 - ・カッター
 - ・スケール
 - ・掃用具（ほうき、ちりとり）
 - ・釘打ち機（コンプレッサー）
 - ・水平器（又はレーザーレベル）
 - ・ドライバー（+）
 - ・水糸
- ⑤隙間ゲージ
厚さ 15 mmの合板又は木材で、右記形状のものを 4 個以上のものを作ります。



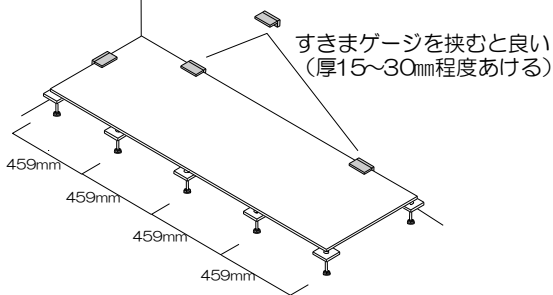
施工前に、床コンクリート面を清掃してから始めます。

①床パネルの敷き込み

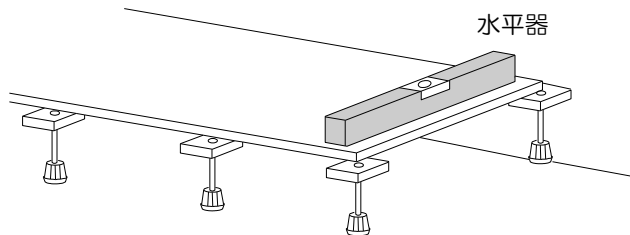
ア) 壁際は床パネルに支持脚調整用の穴をあけ、支持脚を固定します。



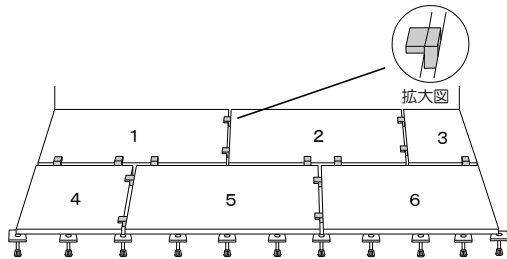
イ) 壁との間に約 15~30 mm 隙間を設けます。459 ピッチ以内で床パネルに固定します。出入口、非常口、階段およびステージ前は 300 ピッチとします。



ウ) 床パネルに水平器を置き、ボルト部を廻して床パネルを水平に調整します。

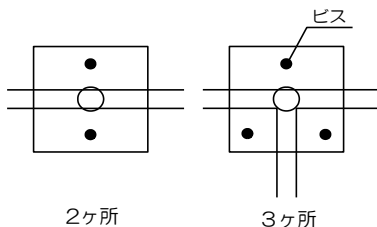


エ) 2 枚目以降の床パネルは 15 mm の隙間 (目地) を開けて敷きこみます。この時、隙間ゲージを使用して下さい。床パネルは、短手方向に張っていきます。(下図の 1~6 の順番) 張り仕舞い、床パネルの幅が 200 mm 以下になる場合、前列の床パネル幅をカットし、200 mm 以上にして下さい。



②床パネル固定

床パネル上からコーススレッド (長さ 38 mm) を打ち固定します。下図の位置に打って下さい。

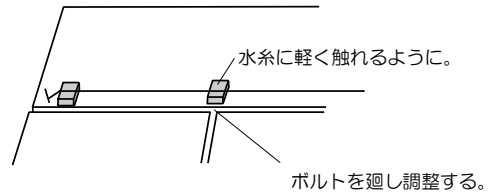


③レベル (床高) 調整

- 壁際を基準として床パネルの目地に沿って水糸を張り、両端にスペーサ (同じ厚みのもの) を挟み、もう一つスペーサを用意して、床パネルと水糸の間にあてます。ボルトを廻しスペーサが水糸に軽く触れる高さに調整します。床パネルの水平は出来る限り保って下さい。
- レーザーでレベル調整する場合は、かね尺等を使用し、レベルを確認しながら高さを調整して下さい。

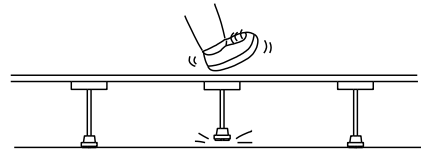
注意

- 製造工程上、ボルト頭部の十字溝に一部変形がみられるものがありますが、不良品ではありません。
- インパクトドライバーや電動工具等でレベル調整を行うと、過度な負荷がかかりボルト頭部の十字溝及びねじ山が潰れる恐れがありますのでご注意ください。



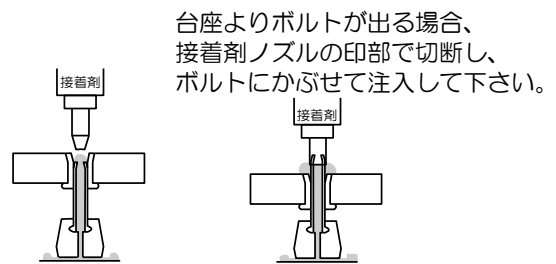
④点検

床全体を歩いて支持脚の「浮き」が無いか確認します。支持脚上を歩いて他よりも柔らかく感じたら浮いている可能性があります。浮いている箇所を発見したら、スラブ面に支持脚が接地するまでボルトを廻して下さい。



⑤接着剤注入

支持脚の上から接着剤を注入します。接着剤が固まるには 1~2 日かかります。



接着剤を入れる目安 TEJ-670 まで 5ml
TEJ-730 まで 7ml

注意 基本数量以下の支持脚には接着剤が入りません。



注意

床上に重量物を置かないで下さい。また、接着剤が硬化するまで人の歩行も避けて下さい。

⑥捨張り合板およびフローリング

床パネルと直交に貼って下さい。目地と、合板の継ぎ目が重ならないようにして下さい。